

授業科目	こころと人間					実務家教員担当科目	-				
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	園山 繁樹										
授業概要	「こころ」は自分自身にも自分以外の人にもあり、自分の生き方を考える際や対人援助の場では十分な理解が求められる必須の事柄である。「こころ」を科学的に理解しようとする学問が心理学である。この授業ではまず、「こころ」がどのように理解されてきたのかを学ぶ。そして「こころ」を構成する要素、機能（はたらき）、それらの変化・発達や個人差を具体的に見ていく。最後にそれらの学びを踏まえ、対人援助の実例を通して「こころ」理解の重要性を学ぶ。										
授業形態					授業方法	Google フォームを利用して双方型授業を行う					
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 心理学がどのような学問であるかを説明できる。 2. 「こころ」の理解の仕方の多面性を理解している。 3. 「こころ」の構成要素、機能（はたらき）、変化・発達、個人差に関する基礎的事項を説明できる。 4. 「こころ」を理解するアプローチの仕方を説明できる。 5. 対人援助における「こころ」理解の重要性を理解している。										
理想的レベル	標準的レベルに加えて、対人援助において求められる「こころ」理解、及びその理解に基づく援助のあり方について説明できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			70								
小テスト			30								
レポート			0								
発表（口頭、プレゼンテーション）			0								
レポート外の提出物			0								
その他			0								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU10407J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
各回のキーワードについて事前に調べておく。授業で取り上げた重要事項について復習しておく。										4	
授業計画											
第 1 回	テーマ：総合人間科学として「こころ」を学ぶ意義 「総合人間学」の提唱者・高木俊一郎初代学長の人間観とその背景、「こころ」の多面性										
第 2 回	テーマ：精神分析学的な「こころ」理解 精神分析学、フロイトが考えた「こころ」、無意識、夢分析										

第3回	テーマ：行動分析学的な「こころ」理解 行動分析学、スキナーが考えた「こころ」、行動と環境、ABC分析、「罰なき社会」
第4回	テーマ：見る・聞く・感じる・わかる 外の世界を知る感覚器と感覚のメカニズム、ヘレン・ケラー、知覚すること、錯覚
第5回	テーマ：学びのメカニズム 古典的条件づけ（パブロフの犬の実験）、オペラント条件づけ（スキナーのマウスやハトの実験）、観察学習
第6回	テーマ：憶えること・忘れること エビングハウスの忘却曲線、記憶のプロセス、記憶の貯蔵庫、ワーキングメモリ、嫌悪記憶のフラッシュバック現象
第7回	テーマ：心理的機能の発達 生涯発達の視点、各時期の発達の概要、ピアジェの発達理論、エリクソンの発達課題
第8回	テーマ：性格（パーソナリティ）と知能 何を性格と呼ぶか、性格の分類、ビネーの知能検査の始まり、何を知能と呼ぶか
第9回	テーマ：情動・情緒・感情 情動のメカニズム、楽しさや怖さで行動はどう変わるか
第10回	テーマ：思考と言語 問題解決、推論、非言語的コミュニケーション、言語の特性
第11回	テーマ：非認知スキル 社会情動的スキル、自尊心、自己効力感、実行機能、心の理解、共感性
第12回	テーマ：「こころ」のアセスメント 知能検査、性格検査、発達検査、行動観察、インタビューによって「こころ」の何を理解するのか
第13回	テーマ：「自閉症」支援から「こころ」を考える カナーは最初の論文で自閉症をどう考えたか、自閉症原因論の変遷、感覚と偏食、「こころ」の理解に基づく支援のあり方
第14回	テーマ：「場面緘黙」支援から「こころ」を考える 場面緘黙の症状、場面緘黙の多様性、発話や行動の抑制と不安、「こころ」の理解に基づく支援のあり方
第15回	テーマ：「行動障害」支援から「こころ」を考える 行動障害の種類、行動障害の発生メカニズム、冰山モデル、「こころ」の理解に基づく支援のあり方
テキスト	プリントを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・「心理学 第5版補訂版」 鹿取廣人他著 東京大学出版会 ・「心理学史」 大芦 治著 ナカニシヤ出版 ・「パブロフの犬:実験でたどる心理学の歴史」 アダム・ハート=デイヴィス著（山崎正浩訳） 創元社 ・「心理学ミュージアム」 日本心理学会 Web サイト https://psychmuseum.jp/?ja=1 ・「心理学ワールド」 日本心理学会機関誌 （以下の URL から閲覧・ダウンロード可） https://psych.or.jp/publication/world

課題に対するフィードバックの方法	・小テストは提出後に回答例を提示する。 ・定期試験は成績発表後に回答例を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	「こころ」について科学的にわかっていることは多いですが、わかっていないことも多くあります。この授業を通して自分自身の「こころ」を理解する新しい視点、他者を理解する新しい視点を学んでほしいと思います。